

*-----

■■日本世代間交流協会ニュースレター 2012年11月号■■

落ち葉の降り積もる頃となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。3ヶ月に一度の定期刊行のニュースレター、11月号をお送りします。

【目次】

1. 活動報告
2. 活動予定
3. 出版物の案内
4. 「会員の声」
5. 「会員の声」募集
6. 次号（2月）の予定

【1 活動報告】

■■JIUA ワークショップ■■

9月14日(金)16:00~17:30に、東京都健康長寿医療センター研究所中会議室にて、イングランドのCalouste Gulbenkian(カルースト・グルベンキアン)財団の方々をお招きしてJIUAワークショップが開催されました。“Funding Intergenerational Initiatives to Strengthen Local Communities”というタイトルのもと、イギリスにおける世代間交流プログラムの実態についてご紹介されました。発表後には、世代間交流プログラムの文化的背景について大変興味深い議論がなされました。

■■日本世代間交流学会 第3回全国大会 ■■

10月6日(土)、名古屋芸術大学(於名古屋市)にて日本世代間交流学会第3回全国大会が開催されました。おかげ様で大盛況のうちに終えることができました。

大会のテーマは「世代間交流と生涯にわたる人格発達」であり、第一部「研究の部」と第二部「実践交流会」という二部構成になっており、研究と実践という両輪によって「世代間交流」が動いていることを再認識させられる大会となりました。

詳細に興味をお持ちのかたは、下記の学会ホームページに紹介されています。ぜひご覧ください。

<http://www.jsis.jp/>

学会の存続・活性化のためには、ひとり一人の学会費の納入が重要です。具体的な金額は次のようになっています。

◎一般会員の場合

入会金： 1,000 円

年会費： 正会員 6,000 円、学生会員 4,000 円、市民会員 1,000 円

◎日本世代間交流協会会員の場合

兄弟姉妹団体の割引があり、入会金：1,000 円、年会費：2,000 円

■JIUA ワークショップ特別企画 第 69 回 日本公衆衛生学会総会 自由集会■
10 月 25 日（木）18:00～20:00 に、カリエンテ山口第 4 研修室にて、公衆衛生学会・自由集会「世代間交流によるコミュニティ再生を考える会Ⅲ-世代間交流の効果をいかに測定するか-」が開催されました。「世代間交流の測定法」という難しいテーマでしたが、発表者の先生方による多角的な視点(老年学、社会心理学、教育学、公衆衛生学)からのご発表により、大盛況のうちに集会を終えることができました。

【2 活動予定】

■米国ジェネレーション・ユナイテッド 第 17 回国際会議 ■

米国ジェネレーション・ユナイテッドの第 17 回国際会議が、以下の要領で開催されます。

日時： 2013 年 7 月 30 日(月)～8 月 2 日(金)

場所： The Washington Court Hotel in Washington, DC

→ <http://www.washingtoncourthotel.com/>

| | | |
|-------|--------------------|-------|
| 参加登録： | 2012年12月31日まで | 350ドル |
| | 2013年1月1日～5月24日まで | 375ドル |
| | 2013年5月25日～7月26日まで | 475ドル |

詳細は、下記のホームページにて、随時更新されております。

<http://guconference.wordpress.com/>

皆様ふるってご参加下さい。

【3 出版物の案内】

当協会の会員を中心に執筆が進んでいた書籍が、ついに刊行されました！

■多様化社会をつなぐ世代間交流—次世代への『命』の連鎖をつなぐ—■

草野篤子・内田勇人・溝邊和成・吉津晶子編著

三学出版、7月初版発行

国内外の世代間交流に関する学際的な見地に立つ研究者や実践家がそれぞれの豊富な経験および蓄積された研究成果をもとに執筆いたしました。なるべく多くの方がたに読んで頂きたい一冊です。

■『世代間交流 —老いも若きも子供も—』第12号（特定非営利活動法人日本世代間交流協会第5号）■

発行者：文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業、白梅学園大学・短期大学「世代間交流広場」、特定非営利活動法人日本世代間交流協会

協会の定期刊行物であるこの雑誌は、皆様のお手元に届いておりますでしょうか。もし届いていない場合には、事務局にご連絡ください。今号から、国会図書館から国際定期刊行物番号 ISSN 2187-414X を、いただきました。皆様、どうぞ、ふるって論文、ノート、実践報告などをお寄せ下さい。

【4 「会員の声」】

今回はT・Rさんより「保護司と若者の世代間交流」です。

長年、保護司をされている方からお伺いした話しです。孫くらいの年齢の非行少年と接して、暴走族や不良仲間と犯罪行為を繰り返し捕まった子どもたちも、だいたい更正させてきた。でもほんの一握りの子どもはどうしても更正が難しい。保護司として世話をし、自分の手元を離れた少年が20代になり、大きな事件を起こし捕まった。「あいつは難しかった。根っからの悪はいるものだ。」と無念の表情を浮かべる。反面、暴走族のヘッド(暴走族総長)をした少年でも家庭を持ち幸せに暮らしているものもいる。大人になれば非行少年たちの心も大人になるのだろう。70代になった今も、地域の少年たちのために「彼らは更生できる！」と信じ保護司として活動を続けると語った。

【5「会員の声」募集】

「会員の声」ということで、皆さんにご応募を呼びかけています。皆さんのご意見や体験談・エッセー・俳句をニュースレターに掲載したいと思いますので、世代間交流について思うこと、当協会について感じることなど、ご意見を以下のアドレスにお寄せ下さい。

yhoyho05*tmig.or.jp (*は@に直して送信ください)

【6次号(2月)の予定】

1. 活動報告
2. 活動予定
3. 会員の声
4. その他

【編集後記】

今月のニュースレターは、いかがでしたでしょうか。日毎に寒さが加わってきておりますが、お体にはくれぐれもお気をつけください。